



- 10分で読める** 編集部のおすすめ記事紹介
- 1 入園の低年齢化進む 専任特化で保育充実
 - 2 感謝・称賛の文化で離職率改善 Unipos
 - 3 教育価値を高める 預かり保育が「要」に
 - 4 もしもしIT相談室「他園のICT活用状況は？」
- Facebook: パステルIT新聞の制作の裏側やバックナンバーを更新中!
<https://www.facebook.com/passtellnews/>

6月で **おかげさまで創刊14周年!** 通巻第159号

パステルIT新聞

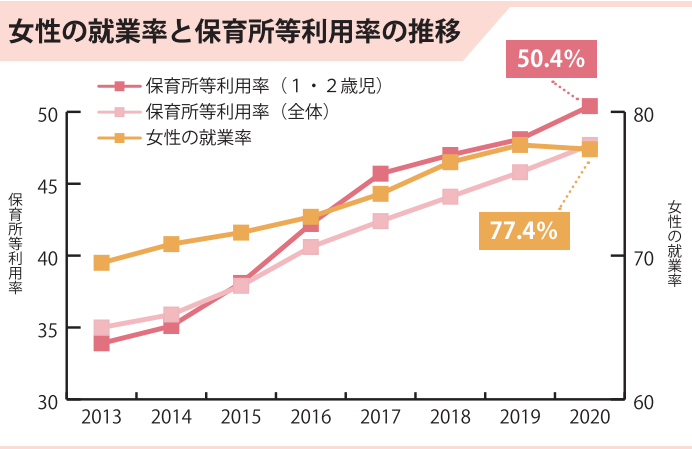
購読申込・掲載依頼のお問い合わせは「パステルIT新聞事務局」まで
 〒425-0074 静岡県焼津市柳新屋436-1 ☎ 054-626-8888 ☎ 054-626-3371
 発送先数: 11,945 施設 (幼稚園 37% 保育園 40% 認定こども園 21% その他 2%)
 創刊: 2008年6月20日 発行: 株式会社サンロフト Webサイトは右記QRコードより



ファンが集まる園づくり2022

入園の低年齢化が進む 専任特化で保育充実を

毎月100人の園長先生と話すという学園経営コンサルタント・石田敦志さん。園ごとに状況は様々であるものの、園づくりには原理原則があるとのこと。石田さんが注目する保育業界の時流と必要な考え方を伺いました。



1・2歳児の保育利用率が年々上昇 (厚生労働省「保育を取り巻く状況について」)

園を取り巻く外部環境の変化として、まず挙げられるのは少子化。厚生労働省が2022年2月に公表した2021年の出生数は84万人(速報値)と、6年連続で過去最少を更新しました。さらに、現在は約7割が共働き世帯。今の日本社会は、共働きをしなければ豊かな生活を送ることが難しい局面に入っており、今後も女性の就業率はさら

に高くなること予想されます。「産休・育休後も働き続ける女性が増えるため、2号認定・3号認定の家庭の子どもと関わる体制をいかにつくるかが園経営のポイント」園の経営コンサルタント・サルティンダや教職員育成研修を手がける石田敦志さんは、「教育は2歳、保育は1歳から」が主流となり、どの園もプレ教室や預かり保育など、子どもの受け入れ体制の充実が求められていくと予測。「幼稚園・保育園・こども園という境は既になかった方がいい。自園の教育をしっかりと組み立て、外に表現すること大事になる」と続けます。こうした入園児の低年齢化と受け入れ時間の長時間化に対応するため、園の業

務を細分化し、チームで運営する「事業部制」を採用する園もあるようです。例えば、幼児教育部、預かり保育部、乳児保育部、子育て支援室、事務室、給食部というように、専任のチームに分かれて各チームが専門性を高めて取り組んでいく。そして、連携し合いながら園全体の保育の質向上につなげていくという考え方は、しかし、「受け入れ体制を整えるだけでは差別化ができない」と石田さん。差別化のポイントとなるのは「教育内容」だといいます。「園には理念・教育方針・教育目標が必ずある。地域に対してどのような役割を果たすか(理念)、どのようなスタンスで子どもたちを育てるか(教育方針)、そのスタンスで達成するものは何なのか(教育目標)。その教育目標を達成するために、さまざまなカリキュラムが組み込まれている。このカリキュラムや年間スケジュール、一つ一つの行事の中身

が差別化要素になる」例に挙げたのは、小幡あさひ幼稚園の運動会。同

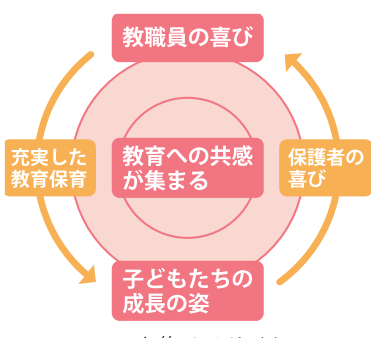
学園経営コンサルタント 石田 敦志氏

三つ子の父として壮絶な子育てをしていたとき、出会った幼稚園の先生の言葉に救われた経験から現職に。現在は園の経営コンサルティングや教職員育成研修を行っている。



自園の幼児教育を「表現」する

自園の強みを見つけるのに、石田さんは定期的な自己評価、特に東京家政大学の尾崎先生が研究するeループリック(自己評価)という手法を推奨しています。一般的な自己評価が目標項目に対して達成度を丸付けするものが多いのに対し、eループリック(自己評価)は、達成度を証明する具体的なエピソードを記入するといふもの。そのエピソードを様々な先生に見てもらいアドバイスや評価



をもらいます。子どもの成長のための教育環境をいかに構成するか。同年代であっても、積んできた経験や学び持つものは違うもの。それぞれの視点で複数の人の知が共有される同手法は、自園らしさの言語化や共有、人材育成と幅広い効果が期待されます。「子どもたちの成長の姿を専門性を持って保護者に伝えられるようになると、その成長の姿を知った保護者の喜びが地域に口コミで広がり、且つ先生たちの次へのモチベーションになる。そして質の高い教育・保育、子どもたちの成長の姿へとつながる」。

先生一人一人が保護者や地域とコミュニケーションをとることが時代不変の鍵となるようです。

園では、運動会を学年別に開催し、年長の運動会では年少年中が応援を、年少中の運動会では年長がスタップとなり年少中の子どもたちを支えるそうです。「そうした環境下で行われる運動会だからこそ、思いやりや憧れといった心が育つ。教育の中で、子どもたちの「何が」成長しているかを表現することが、ファンづくりにつながる」と強調しました。

参加無料... 定員10名限定

職員の採用・定着に課題を感じている **施設長様へ!** 参加型・対話型

オンラインワークショップ 開催

7月4日(月)13:00~14:30

オンライン参加URLをお送りします (主催:株式会社フジヨシ)

このセミナーのお申し込み&お問い合わせは

スマートフォンから応募する

mail: support@hoikuai.net

フリーダイヤル ☎ 0120-739-567

保育従事者のためのプラットフォーム

ほいくあい

課題解決への新しい選択肢を共有しませんか?

仲間からの感謝を見える化する「Unipos」

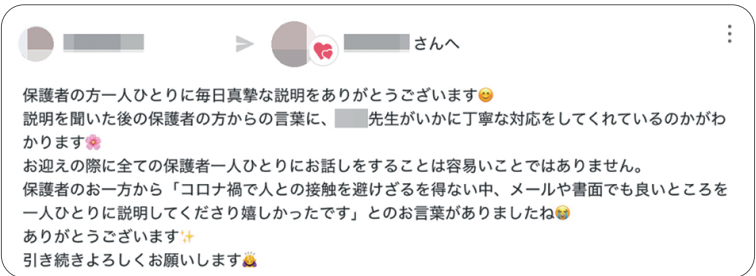
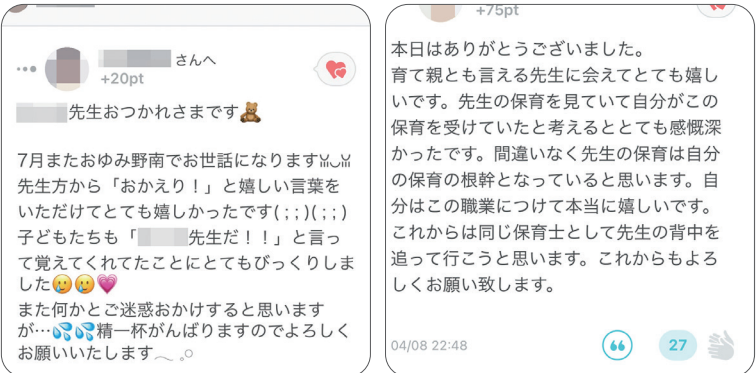
感謝・称賛の文化醸成
離職率の大幅な改善に

離職が多いと言われる保育業界。人材確保とともに人材定着が課題となる中、(株)ハイフライヤーズは職員同士の称賛を見える化する「Unipos」を導入。心理的安全性に着目し、離職率の大幅な改善をしています。

「2021年新入社員

意識調査」(株式会社マネジメントソリューションズ)によると、働きたい職場の特徴は「お互いに助け合う」がトップで68.4%。協同性を重んじ、周囲を伺いながら行動する若者が多い一方で、孤独を感じたり、悩みを相談できずいたりする若者を支える職場づくりが必要になっています。

「若い職員が本当に欲しかったのは、給与面や処遇、上司からの評価よりも、一緒に働く仲間からの共感や保護者からの感謝の言葉で得られるやりがいだった」そう語るのは、千葉県で認可保育園「キートス」を展開する(株)ハイフライヤーズキートス統括園長の日向美奈子氏。2010年創業後、急成長を続ける同社



Uniposを通して1日100通以上の「ありがとう」が共有される

「デジタルネイティブでありSNS世代、いわゆるZ世代にとって価値を感じるものは、『横のつながりがある誰かが認めてくれること』であり、嘘のない『いいね』であると気づいた」Uniposは、職員がお互いを称賛し、感謝を伝えるメッセージとともにポイントを贈り合うことができるWebサービスです。感謝を伝えたい相手に対し、「〇〇先生がありがとうと言っていたよ」のように投稿すると、全職員に共有されます。共感した投稿には「拍手」を送ることも可能。会社からの一方的な称賛ではなく、仲間から自分の行動

心理的安全性を高め、離職率の改善を実現。「Unipos」の詳細はこちら。



導入園の声



に承認をもらうことで、「この行動がよかったんだ」ともよい行動を取ろう」と、職員の気づきやモチベーションがアップ。離職率は7.4%まで改善し、サービスの質向上、売上アップを達成したといっています。

「ありがとう」が起点的コミュニケーション浸透
お互い感謝しあうことでなんか居心地よくなったななんか楽しくなったなそんなふうになったらその気持ち先生たちだけでなく子どもたちをも笑顔にできると思います
「Kitos」=「ありがとう」です!
ありがとう、何よりも一番大事なので、「ありがとう」を伝えるためにも、Unipos、いっぱい送って欲しいです。(←ココでココボス!)
Kitosをありがとうの花でいっぱいにして欲しいです何よりも、どんな仕事よりも、「ありがとう」を一番大切にしたいから送ってくださいよろしくお願いたします

「ありがとう」を大切にするキートス。Uniposも自然に浸透

キートス新入社員の初仕事は「Uniposを贈る」と。最初のコミュニケーションが感謝から始まることで、現場に早く馴染めるそうです。また、「Unipos有給休暇」など社員が自ら使いたくなる制度もあり、利用率はほぼ100%。マネジメント側も日々の投稿から気持ちを取り、素早いフォローに活用しています。

保育博ウエスト2022

日程 2022年7月20日(水)・21日(木)
場所 マイドームおおさか

出展企業
続々決定!

業務改善で1,300園以上が導入!
ニシハタシステムの『IP無線機』

当社は、園業界に特化してIP無線機や緊急地震速報機器を提供しています。日常の業務効率アップと、いざという時の災害対策を両立できます。無料貸し出しも実施しています。ぜひ当社ブースへお越しください。



お問い合わせ
株式会社ニシハタシステム ☎0120-775-956

園と保護者が無料で使える!
保育動画配信アプリ「てのりの」

パスワード付きの安全な環境で、スマートフォンやタブレット1台から、簡単に動画配信を始められます。園も保護者も無料で使えて、面倒な契約も不要です。ぜひパステルIT新聞のブースまでお越しください。



お問い合わせ
株式会社サンロフト ☎054-626-8888

キャリアコンサルタントの採用コラム
データから「人間関係」を見る

株式会社フジヨシ
代表取締役社長 飯田美名子氏



多くの園長先生たちが保育者に求めるコミュニケーション能力。コミュニケーション能力が高いとは、具体的にどのようなことを指すのでしょうか。コミュニケーション能力と言いつても、傾聴力や非言語能力など、人によって、その強みは様々です。AIマッチングツール「ほいくあい」を企画開発する中で、園長先生や保育者の性格タイプ、コミュニケーション

ンスキル、職場の満足度や悩みなど、これまで多くのデータを収集し、関係性を分析してきました。また、「茨城県DXイノベーション推進プロジェクト」の実証の中で、さらに詳しいデータの蓄積が可能になり、園と保育者(求職者)のマッチング度も推測できるようになりました。

職する方が多いのが実情。膨大なデータから導き出されるのは一つの可能性です。園の採用基準をより確かなものにし、その人に合った育成方法を選択し定着へつなげるために、園長先生たちのサポートを実現いたします。

ほいくあい
保育分野をはじめ人材サービスや小規模保育園を手がける。代表の飯田氏は自身のキャリアコンサルタントの経験を活かし、2021年にAIマッチングツール「ほいくあい」を開発。
無料モニター募集!
https://www.hoikuai.net/

教育価値を高める 預かり保育が『要』に

園の収支を支える夏見台幼稚園の「Bコース」

学園経営コンサルタントの石田さんは、「2号認定・3号認定の家庭の子どもと関わる体制づくり」が園経営のポイントだといいます(本紙1面)。ますます重要となる午後の預かり保育の考え方について、園の事例を聞きました。

千葉県船橋市の夏見台幼稚園には、「午後2時まで子どもを預かるAコース」と「午後6時まで子どもを預かるBコース」の2つがあります。一般的に幼稚園の預かり時間は午後2時までですが、同園のBコースは午前は縦割りの保育活動を、午後は横割りで英語や音楽、体操、認識遊びなどの活動を週間カリキュラムを組んで行います。

園内に保育園が併設されている同園は、0歳からの発達過程を踏まえた教育ノウハウを持っていることが強み。長く預かる、加えて発達段階を踏まえた視点と

いう「保育園の特徴」と就学前の幼児への教育という「幼稚園の特徴」を併せ持ったこのBコースが、人気を集めているそうです。もともと月々にかかるBコースの費用は6万円。幼児教育・保育の無償化に伴い、約3万5千円が特定負担金と呼ばれる利用者負担額となります。

学園経営コンサルタントの石田敦志さんは、「利用者負担額を5〜6千円とする園が多いなか、同園のBコースは高額。でも、すごく人気なんです。自園の教育性を高め、価値を認識してもらおうことができている」と分析します。



保育園と幼稚園の特徴を併せ持つ保育特徴

ポイントには、ただ預かるだけではないというところ。「計画をしっかり組み、専任の体制を敷き、預かり保育の中でも子どもたちの成長が担保されるようにすることが勝負」と石田さん。入園児の低年

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

園で実践できる！ 子どもの安全とSDGsの取り組み

こどもKYT+SDGsの超きほん



ガイダンス編ではKYT(危険予知訓練)やSDGsのポイントを紹介

事故防止専門プログラム「こどもあんぜんマイルス」や職員向けに就学前施設の危険予知訓練ツールを提供するあいおいニッセイ同和損保(株)は、保

育現場の安全・安心に関する取り組みを支援するため、今年4月、リスクマネジメントツール「保育園・幼稚園・認定こども園用」こどもKYT+SDGsの超きほん」の提供を開始。様々な要因が重なり発生する危険・事故は、事業者や保育者のみで回避するのは困難なもの。怪我を負う「子ども自身の危険回避力の育成」も重要です。

本ツールは、「手洗い」「工作」など、具体的な園生活の場面を表したイラストを使い、「危険につながる行動は何か」を子どもたちが自

身が話し合います。さらに、イラストにはSDGsに関わる要素も含まれ、「水をムダにしない」「ゴミを再利用する」など、幼少期から環境問題や社会問題に興味を持てるようなきっかけを創出します。

世界的にSDGsへの関心が高まる一方で、保育施設においては具体的な手段が分からず、十分に進められていない現状があります。保育現場の子どもの安全とSDGsの達成。同社は、これらの課題に対応すべく、全国の保育施設に対し、同ツールの導入提案を実施中。詳細はサイトから。



年齢や保育時間の長時間化に対応する人材を確保するために、教育価値を高め、保護者から適正な対価をいただくことも経営にとって重要になるといいます。「SNSやLINEなど、ネットをフルに使って接点をつくる。0歳・1歳、マタニティのときから園と関わられるようなしくみをつくる。なかには、保護者が保育補助として園内で過ごす『保育参加』を試みる園もありです。まずは母集団をつくること。園の中身が適切なものになっていけば、自然とその母集団からファンが集まってくる」と背中を押しました。



ワンタッチでイベント申込&受付

園児募集にも効果的な「子育て支援イベント」。保育中に電話やメールで受付対応するのは大変ですが、そうしたやりとりを「LINEを使って自動化する園」が増えていきます。

LINE公式アカウント・Lステップの構築・運用支援をしているSINTERASは、園の要望に沿ってしくみを構築。作業負担を減らしつつ、園の運営に効果的な施策支援をしています。

未就園児イベントもLINE×Lステップで業務負担軽減 園からの情報発信を身近・便利に

「園の各SNSをLINEと紐づけ、保護者が探さなくても知りたい情報に辿り着ける設計が大事」といいます。日常生活に馴染んでいるLINEを使い、保護者により身近に感じてもらえる工夫をする園が今後さらに増えていきそうです。自治体によっては導入に補助金を適用できるケースも。ご相談は同社まで。

同社はSNSとLINE活用をテーマに無料セミナーを開催。詳細はこちら。





大阪開催

child edu & care JAPAN WEST

保育博ウエスト

園経営者、保育従事者、購買担当者の皆様 必見!

保育・教育ビジネス&サービスに関する すべての人・モノ・コトに出会えるビジネス商談見本市



セミナー

7月21日(木) 15:30-16:30

「選ばれない園がたった1年間で超人気の園に変わった理由」

保育士/子育てアドバイザー/顧問保育士 てい先生

2022年

7月20日(水)-21日(木)

マイドームおおさか

来場事前登録はこちら



オーガナイザー: 保育博事務局 メッセフランクフルト ジャパン(株) Tel 03-3262-8456 visit@hoikuhaku.com



Vol.159

作 はせがわやすこ

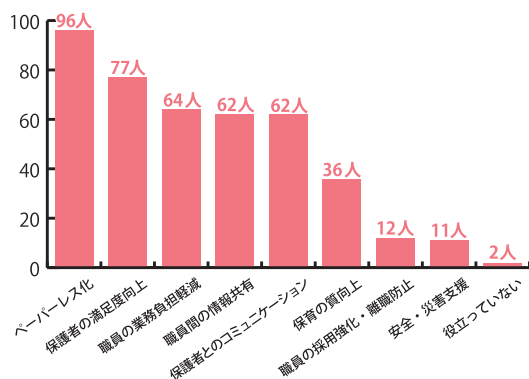
「ICTはI seeか!？」編



テーマ「ICT活用」

ICT活用は私たちの生活を豊かにしてくれます。そのために大切なのは、システムを使う人がどのように活用するかです。導入時は、目的の共有、プロセスの整理、運用ルールの制定、職員教育・研修などを行きましょう。

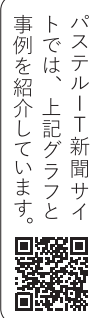
ICTが役立っていると感じる分野



●現在、ICTを取り入れている国の業務TOP6

| | | | |
|--------------|------|------------|-----|
| 名簿管理 | 119名 | 写真販売 | 76名 |
| 登降園管理 | 106名 | 動画配信 | 75名 |
| 預かり保育・延長保育管理 | 95名 | 諸費用計算・請求業務 | 74名 |

調査対象 パステルIT新聞購読園
 調査期間 2022年2月21日～2022年3月31日
 調査方法 アンケートフォーム/用紙記入による調査
 回答数 214件



パステルIT新聞サイトでは、上記グラフと事例を紹介しています。

パステルIT新聞では、同調査で得られた読者の声を受け止め、今後の企画に活かしていく予定です。

一方で、ICTに関する苦手意識やスキルの習得、コスト面の課題も浮き彫りになりました。

さらに、ICT活用園に「ICTが役立っている」と感じるシーンを聞いたところ、最も多かったのはペーパーレス化。続いて、保護者の満足度向上、職員の業務負担軽減、職員間の情報共有が挙げられました。

2022年6月に創刊14周年を迎える小紙「パステルIT新聞」は、購読園を対象にICT活用の実態調査を行いました。

A ペーパーレス化、保護者の満足度向上に、ICTを活用。

2022年6月に創刊14周年を迎える小紙「パステルIT新聞」は、購読園を対象にICT活用の実態調査を行いました。

Q もしもしICT相談室

他園がICTを取り入れている業務の傾向を知りたい!

ITを園で活用したいけど使いこなせるか不安...。今月は、パステルIT新聞が実施したICT活用調査からもしもしICT相談室(特別編)をお届けします。

CANVAS NEWS! 遊びと学びの秘密基地

デジタルえほんアワード2020 審査員特別賞「おんがくであそぼうピコトズ™」

デジタルえほんアワード2020の受賞作品から、審査員特別賞受賞の「おんがくであそぼうピコトズ™(株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント/日本)」を紹介します! ロボット玩具「toio(トイオ)」の専用タイトルで、付属のマットやプレイブックの上でキャラクターをタッチ・スライドで、小さな子どもでも直感的に音楽が演奏・録音可能。キャラクターとゲームであそびながら、幅広く音楽が学べる新しい製品です。

たのしい! みたことない! 世界が広がる! デジタルえほんアワード <http://www.digitalehonaward.net/>

絵本 『まいにちがプレゼント』

目の中の雲も、今吹く風も昨日とは違うもの。優しい絵と言葉が今を生きる大切さを教えてください。一日一日を大切にしたい、大人にもおすすめの絵本。

作・絵/いもとようこ
 発行/金の星社
 定価/1,400円(税込)

教育分野 西日本最大 140社^{※1}が出演 6月にインテックス大阪にて開催!

EDIX 関西 内 第2回 **関西 保育・幼稚園 ICT化 EXPO**

会期: 2022年 6月15日[水]~17日[金] 10:00~17:00 会場: インテックス大阪

今、知っておくべきテーマに関連する製品・サービスが集結!

- 登降園管理
- 英語教育
- シフト作成・残業管理
- 知育玩具
- デジタル連絡帳
- 園内ネットワーク
- 保育料の自動計算
- セキュリティシステム
- デジタル教材
- 見守りサービス
- アルバム作成サービス

製品の実物を見て・触って・体験できます

招待券のお申込みはこちら(無料)

Webでも受付中! EDIX 関西 検索

〈お問合せ〉
 企画運営 RX Japan株式会社(旧社名:リードエグジジションジャパン) EDIX関西 事務局
 TEL: 0570-015-009 E-mail: edix.jp@rxglobal.com